

## 7. 夜 編

(田中家外観。時間：10:05。母親がダイニングキッチンで晩ご飯の準備をしている。)

田中：ただいま。

母親：お帰り。

田中：今日、めちゃくちゃ疲れた。

母親：だいじょうぶなの？もうすぐ演劇部の公演も、それに英語の試験もあるでしょ。

田中：うん。今、一番きついんだ。英語は宿題とか試験が多くて。もううんざり。

母親：あらあら。

田中：試験が終わったらのんびりどっかに旅行に行きたい。

母親：(あきれたように) まあまあ。ご飯もうできてるわよ。

田中：はあい。

(食卓)

田中：もうお腹ぺこぺこ。今日、何？

母親：ハンバーグよ。あなた好きでしょ。

田中：やった！いただきます。(速く食べる)

母親：そんなに焦らないで、ゆっくり食べなさいよ。

田中：今日は、サークルもあったし、アルバイトもあったから、お腹空いてるんだ。

(田中、座ってファッション誌を見ている。くつろいでいる様子)

母親：何見てるの？

田中：明日、授業の後で、友達と一緒に美容院に行くんだ。ちょっと髪型を変えたいんだけど、こんなふうにくるくる巻いたら、どうかな？(ファッション誌を指しながら、自分の髪をもてあそぶ。)

母親：うん。かわいいじゃない。

田中：本当？よかった。

母親：明日、何時ごろ帰るの？

田中：そうだなあ、ついでに友達と街をぶらぶらしたいんだけど。駅の近くに新しいお寿司屋さんができみたいなんで、一緒に食べに行こうと思ってるの。

母親：スケジュールいっぱいね。お小遣い、足りるの？

田中：大丈夫だよ。ぐるぐる回るお寿司屋さんだから、一皿100円ぐらいだし、それに、飲み物も開店セールで割引しているんだって。

母親：回転寿司なの。じゃ、明日の晩ご飯、あなたの分、準備しなくてもいいわね？

田中：うん。

(テレビを見る田中)

母親：何見てるの？さっきから、にこにこして。

もう遅いわよ。明日、授業があるんじゃないの？

田中：大丈夫だよ。

母親：明日の朝またぎりぎりに家を出ることになるわよ。早く寝なさい。

田中：うん。分かった。分かった。(田中、リモコンでテレビを消し、母に向かって)

田中：お休み。

母親：お休み。